

CULIB NEWS

「身近な図書館・愛される図書館へ」

中京大学図書館長 中山 恵子

図書館長としての初仕事は、名古屋市立大学総合情報センターとの相互協力事業に関する覚書への署名でした。この覚書は、平成30年1月に名古屋市立大学と締結された包括連携に関する協定に基づくものです。これは、図書館を媒介としての両大学の教育・研究環境の充実を目的とするもので、その手始めとして、両機関における教職員・学生の相互受け入れのための施策が実施に至りました。利用者の利便性は、この施策により格段の向上が期待されています。

昨年度、3月末、学会のためポルトガルを訪れました。学会会場は、古都コインブラにあるコインブラ大学です。コインブラは、ポルトガル第三の都市ですが、人口は10万人程度です。13世紀に創立されたコインブラ大学は、世界最古の大学の一つです。現存する大学には珍しく、大学の建造物群は、2013年、UNESCOの世界遺産に登録されました。政治のリスボン、商業のポルトに対して、文化のコインブラと称されるのは、このためでしょう。

大学の中でも、ひときわ有名なのが、18世紀、ジョアン5世の治世下で建築された図書館です。16世紀から18世紀にかけての30万冊に上る蔵書も圧巻ですが、世界一美しい図書館と称賛どおり、みごとな金泥細工やフレスコ画による装飾が息をのむ美しさです。整然と並べられた蔵書からは、先人たちの息遣いが伝わってくるようでした。2017年公開のディズニー映画、「美女と野獣」の野獣が美女に本をプレゼントするシーンが、この図書館にそっくりだと評判にもなりました。また、ハリーポッターの作者が、数年間、ポルトガルに滞在したことから、ポルトにある世界一美しいレロ書店とともにこの図

書館が、ハリーポッターの世界観に影響を与えたともいわれています。コインブラ大学の図書館は、文化の中心としてその地域とともに発展し、人々に愛され続けています。のみならず、世界遺産という観光光源として、地域の貴重な財源となっています。図書館のいわば理想といえましょう。

中京大学の図書館も、大学とともに歩んできました。この地区の先陣を切った試みも過去にはなされてきました。しかし、中京大学の図書館にとって大切なのは、現在と未来です。図書館たるものは、研究・教育の双方に寄与せねばなりません。何より、図書館が学生の皆さんにとって身近な存在となることが必要です。図書館は利用してもらわなければ、価値がないものとなってしまいます。「大学の中で一番好きな場所はどこですか」というアンケートに「図書館」と答えていただけるよう、愛される図書館を目指して、図書館に携わる教職員一丸となり拡充に努めていきます。学生の皆さん、是非、ご協力ください。



▲ポルトガルの古都コインブラにあるコインブラ大学の図書館



▲中京大学名古屋図書館



▲ライブラリーサービスセンター



「名市大図書館」利用可能に 利便性向上へ覚書締結

中京大学図書館（中山恵子館長）と名古屋市立大学（以下、名市大）の総合情報センター（三澤哲也センター長）は4月1日、相互協力事業に関する覚書を締結しました。これにより、中京大の学生・教職員は誰でも名市大の図書館を利用することができるようになりました。名市大は4つのキャンパスに分かれていて、それぞれに分館（図書館）があります。どの図書館の図書資料も閲覧や貸し出し、複写ができます。

一方、名市大の学生・教職員も中京大名古屋キャンパス、豊田キャンパスの4つの図書館を利用できます。

この覚書は、昨年1月に締結された中京大と名市大の包括連携協定に基づいて交わされました。お互いの図書館が所有する図書資料の特徴を生かして、双方の大学の教育・研究環境を充実させることが目的です。本学の学生・教職員の皆さんが積極的に名市大の図書館を利用されることを期待しています。右のページに利用案内を掲載しました。ご覧ください。

名市大の4キャンパスの所在地

Takiko
Campus

滝子（山の畑）キャンパス

（経済学部、人文社会学部、総合生命理学部）

- 名古屋市立大学総合情報センター山の畑分館
〒467-8501 瑞穂区瑞穂町字山の畑1
☎052-872-5761

Sakurayama
Campus

桜山（川澄）キャンパス

（医学部・看護学部）

- 名古屋市立大学総合情報センター川澄分館
〒467-8601 瑞穂区瑞穂町字川澄1
☎052-853-8030

Tanabe-dori
Campus

田辺通キャンパス

（薬学部）

- 名古屋市立大学総合情報センター田辺通分館
〒467-8603 瑞穂区田辺通3-1
☎052-836-3522

Kita Chikusa
Campus

北千種キャンパス

（芸術工学部）

- 名古屋市立大学総合情報センター北千種分館
〒464-0083 千種区北千種2丁目1-10
☎052-721-1107

名古屋市立大学図書館の利用案内 (中京大学の学生・教職員向け)



閲覧

名市大図書館のカウンターで「学生証」、「教職員証」または「利用証 (Library Card)*」を提示の上、資料を閲覧してください。

貸出

名市大図書館のカウンターで「利用証*」を提示の上、図書の貸出を受けてください。

※初めて市大図書館で図書を借りる際は、カウンターにて利用申請手続きが必要となります。手続きが済みしたら「利用証」を発行します。

貸出冊数 5冊以内／**貸出日数** 2週間以内
(但し、雑誌の貸出はできません)

返却

図書の貸出を受けた名市大図書館のカウンターへ直接返却してください。

複写

名市大図書館に設置のコイン式コピー機を利用できます。

電子ジャーナル等の利用

電子ジャーナルやデータベースをご利用いただけます※。利用にあたっては、「利用証」とは別に、専用の IC カードが必要となります (カウンターにてお貸しします)。またプリントアウトをご希望の方は、カウンターでお申し出ください。

※利用できるのは、本学が契約しているもののうち、ウォークインユーザー可のものです。

利用時間

【平 日】 9：00～21：00 (山の畑分館・川澄分館)
9：00～17：00 (田辺通分館・北千種分館)

【土曜日】 9：00～17：00 (山の畑分館・川澄分館のみ利用できます)

※夏季特別整理期間・年末年始などは休館となります。

詳しくは名市大図書館 Web サイトで確認ください。

URL : <https://www.nagoya-cu.ac.jp/affiliate/library/services/index.html>



▲法学文献センター



▲中京大学豊田図書館



学生連携

「学生協働」活動の推進

本学は図書館業務の一端を、職員とともに、利用者でもある学生が担う「学生協働」を進めています。図書館の運営に学生の目線を取り入れ、サービスの改善や利用促進を図ることが狙いです。学生にとっては図書館での業務体験を通じて成長することができ、キャリア形成促進にもつながります。学生協働の具体例としては、学生有志の「図書館広報隊」による企画展示やイベント、学生選書ツアーなどがあります。いくつかを紹介しましょう。

EVENT
REPORT

図書館広報隊の活動

図書館広報隊には、8人の学生が応募。このうち澤田知里さん（歴史文化学科2年）、竹内萌恵さん（歴史文化学科1年）、佐藤莉南さん（日本文学科1年）、佐原規嵩さん（日本文学科1年）、百合野ひなたさん（言語学科1年）の5人は展示班として、原千紗都さん（心理学科1年）、原かんなさん（心理学科1年）、平木里咲さん（日本文学科1年）の3人は、イベント班として活動しました。

展示班は梅雨にちなんで「雨の日に読みたい本」と夏休みを控えて「夏に読む本」をテーマにした本を名古屋図書館に展示しました。メンバーの一人、佐藤さんは「私は伊坂幸太郎のファンで、『死神の精度』という小説も展示しましたが、この活動を通じて、普段、読むことのない作家の本も見つけることが出来、自分の世界が広がりました」と語ります。また、竹内さんは「夏休みは長いので長編小説や怪談物などを展示しました。メンバーの5人となかなか活動時間の調整がつかず苦労しましたが、よい経験ができました」と話しています。



▲「夏に読む本」の展示作業をする図書館広報隊のメンバー

一方、イベント班のメンバーは7月9日、名古屋図書館で森谷敏夫教授（中京大学校友会会長、京都大学名誉教授、中京大学・京都産業大学客員教授）の著書『おサボり筋トレ』出版記念イベント「図書館座談会」を開催しました。座談会では森谷教授から著書についての紹介があり、質疑応答の時間が多く設けられました。進行を務めたのは原千紗都さん。原さんは「企画の目標設定から始め、図書館内の企画案内やポスター作成などをしました。多くの人が集まってくれてよかったです」と話しています。



▲学生が企画や座談会の司会を務めた森谷教授の出版記念イベント

EVENT
REPORT

学生選書ツアー

選書ツアーは、ゼミや授業で必要な図書や学習・研究のために図書館に所蔵してほしい図書を、書店で学生に直接選んでもらうイベントです。春学期は5月18日に行われました。購入費用は図書館の予算でまかさないです。学生たちは2時間という限られた時間の中で、一生懸命に本を選びました。秋学期にも実施する予定です。



▲書店の店頭で図書館の蔵書にふさわしい本を選ぶ学生たち



本学は長期計画「NEXT10」の中で「社会連携—地域の連携・交流の核となる」を目標に掲げ、図書館もその精神に沿う形で地域との交流を進めています。地元中学生の「職場体験学習」受け入れもその一つ。

REPORT

中学生が「職場」体験



名古屋図書館は6月11、12日の両日、名古屋市立御幸山中学校（同市天白区）の生徒2人に職場体験をしてもらいました。今回、参加したのは2年生の松尾瑛仁君と宮下成永君。2人は初日、80万冊を収容できる「自動書庫」や源氏物語の写本や洋書が並ぶ「貴重書庫」を見学した後、本の背表紙に配架場所を示すラベルを貼る作業や本の貸出業務や返却受け付け業務を体験。2日目も書架の整理や清掃、雑誌の受け入れ業務などをこなしました。



返却された本をパソコンで確認する宮下君（左）と松尾君

職場体験を終えた感想

松尾君

本には1冊1冊、戸籍があります。本の背表紙に貼ってある番号通り、本棚に本を戻す作業は難しかったけれど、楽しかったです。大学の図書館は静かで勉強しやすい雰囲気です。自分が分からないことがあっても、何冊も本があるので調べられると思いました。

宮下君

公共図書館とは違う大学図書館の内部を見せてもらいました。小説もあれば、学部ごとに使う本もあります。法学文献センターだけでも、法学に関する図書がたくさんあり、驚きました。開架書庫だけではなく閉架書庫があることも初めて知りました。

図書系の仕事

本の発注や受け入れ、整理・装備など、本を書架に並べられる状態にします。本の発注とは、先生や図書館職員が選書した本が図書館に所蔵されていないかどうかを調べ、所蔵していない本を書店に注文する作業。本の受け入れは、書店から納品された本が発注通りのものか、乱丁や落丁がないかを検品して登録する作業です。また、本の整理は、本の情報をデータ化する作業。利用者が本を検索する時に必要な「書名」「著書名」「出版社名」「出版年」「請求記号」などを確認します。本の装備は、本を図書館の資料として管理するための作業で、請求記号などが印字された背ラベルを、本に貼り付けます。



雑誌系の仕事

図書館には新聞や雑誌、年鑑、紀要（大学や研究機関が発行する学術刊行物）、会議録（学会の研究発表会で発行される資料）などの「逐次刊行物」があります。また電子ジャーナルやCD-ROM版で発行されている雑誌もあります。これらのものを図書館の蔵書としてデータ登録し、利用者へ提供しています。





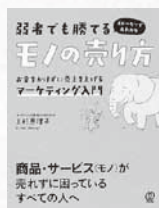
『どもる体』

伊藤 亜紗

医学書院

自分が主体ではない、制御の外にある「体」を感じ取ったことがあるだろうか。もしもこのような「体」が頭をもたげてきたとしたら、自分の体というのは相当厄介な生き物だと思ひ知るのではないだろうか。本書はしゃべるといふ行為の解説から始まり、「連発」「難発」「言い換え」など、吃音の症状について8人の吃音当事者へのインタビューを基にした分析が展開される。吃音は、相当厄介な「どもる体」がしゃべるといふ行為に干渉する障害であり、吃音当事者は「どもる体」の圧倒的なエネルギーとしばしば対峙している。しかし、吃音当事者に限らず、自分のものでありながら自分のものでない「体」を抱えているのは誰にとっても逃れられない事実である。健常であるが故にこのエネルギーに鈍感であることは、むしろ勿体ないのではないかと思わされた。

スポーツ科学部 教授 坂本 龍雄



『弱者でも勝てるモノの売り方』

上杉 恵理子

ぱる出版

本書は、SNS時代に即したマーケティング入門書である。ストーリー仕立ての軽快なタッチで、3C、STP、4P、消費者行動3モデルなど、マーケティングの基本のビジネス実践への応用法が紹介され、初学者にとってすんなりと頭に入るよう配慮されている。

- 〈本書を読むと、できるようになるであろうこと〉
- ▽ 「商品・サービスの強み」を磨き上げる
- ▽ 商品に合った「理想のお客様」を見つける
- ▽ 効果的な SNS プロモーション戦略

手に取ってみると、コンパクトなサイズ感で手によく馴染む。ちりばめられたイラストがキャッチーでカワイイ。気負わずに最後まで読み進めることができる。ビジネスを目指す若者世代にお薦めしたい良書である。

いまここプラス代表 西森 真紀 (永石ゼミサポーター)
経営学部 教授 永石 信
手に取った時点ですぐに読みたい気持ちになる。

書籍紹介 先生編



『ご冗談でしょう、ファインマンさん』(上・下)

リチャード・P・ファインマン

岩波現代文庫

大学に入ったなら、すぐれた研究者の自伝を読んでみることをお奨めしたい。学問のコツのようなものが感じられてくるからだ。なかでも、このファインマンの自伝は特にオススメだ。なにしろ面白い。

たとえば、ノーベル物理学賞を手にする研究者がリオのカーニバルで太鼓を叩いているなんて、いったい誰が想像できるだろう？ 研究対象である物理や数学の話もいくつか出てくるが、他方で、この手の話が満載。日本滞在記も面白い。

そんなこの本を読んでいて感じるのは、ファインマンの旺盛な好奇心であり、心を傾けたものに振り向けるエネルギーであり、ちょっと世の中を斜に構えてみるようなユーモアや遊び心だ。そして、このしなやかな知性は間違いなくファインマンの本業である理論物理学にも貫かれているはずだ。そして我々はそれを垣間見ることができるのだ。

現代社会学部 准教授 芦川 晋



『「国境」で読み解く日本史』

古川浩司 (監修)、造事務所 (編)

光文社知恵の森文庫

私たちは、漠然と国境を把握しているつもりだが、いざ白紙の地図を渡されたら、正確に書くことは思いのほか難しい。昨今の国際情勢の中、日本の「国境」問題は、ますます重要になっているにも関わらずだ。もっとも、日本の「国境」と聞くと、領土問題を思い浮かべがちだが、この本で扱われる「国境」に関わる問題は、それだけではない。日本という「国」がどのように成立してきたのか、その中で、いかにして「国境」というものを意識するようになったのか、またその過程で北海道や沖縄はどのように「日本」に組み込まれていったのか、更には戦前の日本の植民地政策など、多岐にわたる。これまで権力者の歴史を中心に教わってきた日本史というものを、この本は、「国境」という観点からわかりやすく解説している。日本という国をよりよく知るために、一読を薦めたい。

法学部 教授 小坂田 裕子



『ウェブ炎上
—ネット群衆の暴走と可能性』

荻上 チキ

筑摩書房

この本は私が自分たちの置かれている環境が分かりやすく書いてあると思ったので選ばせていただきました。何事始めるにも、自分の「今」を構成するもの——環境、課題、人間、感情を知ることが大切だと私は思っています。しかし、昨今は自分の置かれた環境に興味のない人が思いのほか多いです。これは大変恐ろしいことです。築き上げていく土台がどういう形なのかを知らずに、建物を築いていくことに似ています。土台と合わない建物は築いていくうちに、やがてバランスを崩して、倒れます。具体的に『倒れる』ということが「今」の私たち——大学生でどういうことか言えば、ネットのデマ記事を信じて、レポートを作った挙句、単位不可になることです。ちなみに私は見事、その通りしくじりました。ネットのクズどもは嘘つきばかりです。気をつけましょう。

現代社会学部 2年 藤江 和真



『1941 決意なき開戦』

堀田 江理

人文書院

『史学雑誌 一回顧と展望』で紹介されるほど歴史的にも高い評価を持つ書籍である。しかしこの本の本質は、現代の教訓として参照できる点が多々存在するところである。日米開戦直前の日本の首脳たちの活動や発言を克明に分析していく中で、いかにしてあの戦争に我が国は踏み入れるに至ったのかを記す本書。しかしその特徴は、そこまでの過程が単なる実証的研究書の文体ではなく、一つのドキュメンタリーのように描かれている点である。その描かれ方から見えてくる、各首脳たちの思惑、苦悩、そして決断。俯瞰して見てみれば如何にこの開戦が恣意的で、責任の伴わないものだったのかに驚きを隠せない。

「エリートは正しい」「空気を讀んだ行動」「長いものには巻かれる」日本人ならいつの間にか染み付いてしまう感覚。しかしその思想が生み出す悲劇を、本書は今に訴えている。

法学研究科修士 1年 小池 竣介

書籍紹介

学生編



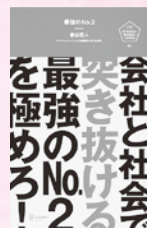
『子どもとスポーツのイイ関係
「苦手・嫌い」が「得意・好き」
に変わるコーチングの極意』

山田 ゆかり

大月書店

スポーツは子どもの身体と心の健全な成長を助長するための手段である。しかしながら、スポーツ少年団や部活動の現場では勝利至上主義がエスカレートし、暴言や暴力など様々なハラスメントが蔓延しているのが現状だ。指導者の役割は決して目の勝ちに拘ることではない。長期的な視点に立ち子どもが安全に、安心してスポーツに親しめる環境を整えることこそが重要である。本書は子どもとスポーツの理想的な関係の実現のために大人がどう関与していくべきかを様々な側面から解説すると共に、7名のコーチが行っている実践的な指導方法が紹介されている。書を読み進めることで有効な練習法だけでなく、指導者に必要な資質や能力を見いだすことができる。本書から得られる知識や考え方は、子どもの指導に携わる人はもちろんのこと、いずれ保護者となる学生にも極めて有益であるだろう。

スポーツ科学部 4年 寺田 和寿



『最強の No.2』

曾山 哲人

ディスカヴァー・トゥエンティワン出版

真面目だけど、いつもいいところまでしかいけない、突き抜けれない。だからあだ名は8割くん。そんなふうには呼ばれていた著者が、どのようなことを大切にして株式会社サイバーエージェントの社長である 藤田晋さんを支える No.2の存在にまで上り詰めたのがまとめられている。No.2とは、その人にとって必要不可欠な存在になること。誰かにとって必要な人になれば、社会にとって必要な人となる。本書は普通であることが不安な人へおすすめしたい、厳しいといわれるこの時代を生き抜くためのサバイバル・マニュアルだ。

私自身、自分は普通で平凡だと思っていた。しかし、本書を通して、普通であっても素直さとしたかきで自分の仕事をつくりだし、誰かにとって必要な存在となることで、組織で、社会で突き抜られる人材になれるのではないかと感じた。自分が社会に価値を提供できているのか、できるのか悩んだ時、ぜひ本書を手にとってみて欲しい。

経営学部 2年 中島 瑞穂

e-culib
START!

「中京大学電子図書館」スタート

中京大学は、電子書籍化された本を、パソコンやスマートフォン向けに貸し出す仮想の図書館「電子図書館」(e-culib)を始めました。図書館のホームページにある「中京大学電子図書館(e-culib)」をクリックして、閲覧・貸出をします。24時間、「いつでも」「どこでも」利用できる電子図書館を活用して、読書を楽しんでください。

QRコード

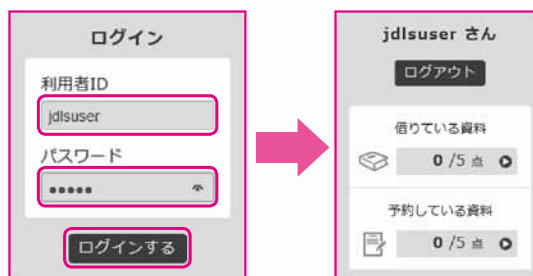
1 図書館HPの 中京大学電子図書館 e-culib をクリックする



【貸出条件】

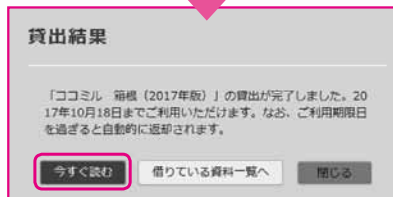
- ・貸出上限数：5冊
- ・貸出日数：7日
- ・予約上限数：2冊
- ・取置日数：7日
- ・延長回数：1回

- ご自分の利用者 ID (CU-ID) とパスワードを入力して「ログインする」ボタンを押してログインします。



2 電子書籍を借りて読む

- 読みたい電子書籍の「借りる」ボタンを押します。
- 貸出完了画面が表示されますので、すぐに読む場合は「今すぐ読む」ボタンを押します。画面で矢印の出る方向で読み進めてください。ブラウザのウィンドウを閉じれば、終了となります。



※次回閲覧時は、続きから表示されます。

3 電子資料を返却する・貸出延長する

- 電子資料は貸出期限が終了すると自動返却されます。
- 貸出期限以前に返却する場合は、「マイページ」に移動して「返す」ボタンを押します。



- 「延長」ボタンを押すことで貸出延長も可能です。
- ※ 予約の方がいない時一回のみ延長が可能です。

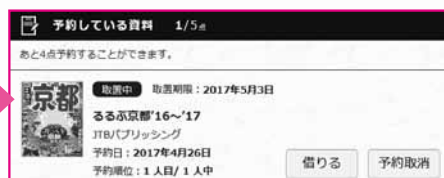


4 貸出中の電子資料を予約する

- 資料が貸出中の場合、1回で2冊まで予約をすることができます。

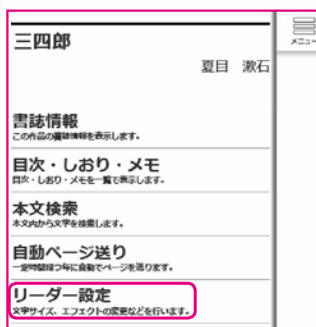


- 予約している資料が利用できるようになるとトップ画面にメッセージが表示され、置き置き期間中（7日間）に貸出できます。

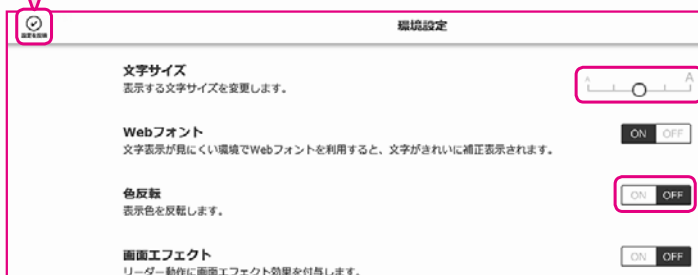


5 ビューワ設定（文字サイズなど）の変更方法

- 閲覧中に画面左上をクリックすると設定変更画面が表示され、設定を変更することができます。（文字サイズ最大化および色反転の例）



設定内容を反映させるには、チェックボタンを押します。



2019年度 図書館カレンダー

図書館の一年間の開館予定がご覧になれます。

各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、図書館ホームページの【ニュース】でご案内いたします。

◎通常の開館時間

	名古屋図書館 (NL)	ライブラリーサービスセンター (LSC)	法学文献センター (LLC)	豊田図書館 (TL)
平日	9:00～22:00 <small>(中京大学の教職員証・学生証をお持ちでない方は下記時間内に入館して下さい 平日9:00～19:00、土曜日9:00～15:00)</small>	9:00～20:00	9:00～19:00	9:00～20:30
土曜日		9:00～12:30	9:00～12:30	9:00～17:30

◎日付の色について

無印は通常開館日 (開講期)

○は休講期 (全館 平日9:00～17:00、土曜日9:00～12:30)

■は休館日

●は定期試験月の休日開館日 (10:00～17:00) LSCのみ

■はホームカミングデー時間帯開館日 (9:00～16:00)。通常の図書館業務は行いません。

名古屋図書館 (NL)							ライブラリーサービスセンター (LSC)							法学文献センター (LLC)							豊田図書館 (TL)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31		
					1	2						1	2						1	2						1	2
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30	31					29	30	31					29	30	31				
			1	2	3	4				1	2	3	4				1	2	3	4				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31	
						①						①						①							①		
2	3	4	5	6	⑦	⑧	2	3	4	5	6	⑦	⑧	2	3	4	5	6	⑦	⑧	2	3	4	5	6	7	8
9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
16	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	16	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	16	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	16	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29
1	②	③	④	⑤	⑥	7	1	②	③	④	⑤	⑥	7	1	②	③	④	⑤	⑥	7	1	②	③	④	⑤	⑥	⑦
8	9	10	11	12	13	⑭	8	9	10	11	12	13	⑭	8	9	10	11	12	13	⑭	8	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
15	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	15	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	15	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	15	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	⑳	㉑					29	⑳	㉑					29	⑳	㉑					29	⑳	㉑				

発行 中京大学図書館

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL(052)835-7235 <https://www.chukyo-u.ac.jp/extension/library/> 印刷 株式会社一誠社